

町のうごき	
本籍数	5,410
本籍人口	16,573
世帯数	4,528
	(4,487)
住民登録人口	16,529
	(16,355)
内	
男	8,039
女	8,490
9月1日現在	
( )内は8月1日現在	

# 広報 てんのう

## No. 189

昭和53年

10月1日発行

発行・秋田県天王町役場 電(018878)2211~4  
 編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 電(0188)237477~8

### 長寿おめでとう

# 健康で楽しく

# 明るくい毎日を

## 9月20日に敬老会



この日を楽しみに多数のおじいさん、おばあさんが出席



▲鷹町長から米寿の記念品を受ける二田の福田さん



おばあさんノ手をつかつては反則ですよ

### 暑さをふつとばした

## 「老人スポーツ大会」

— たつまきも花をそえる —

快晴に恵まれた、九月二日、天王小学校グラウンドを会場に、天王町老人クラブ連合会主催による「老人スポーツ大会」が行われた。

大会には、十八単位老人クラブから多数の参加を得て町民運動会さながらの堂々たる入場行進で開始された。プログラムに従って進行しているうち、気温もぐんぐん上昇し、多少抵抗があるのでは、と心配されたが若さ？をほこる老人の方々は、暑さをふつとばすほどの元気、アベックスブリンレースや、ヨチヨチペンギンリレーと競技を消化していった。

そのときとげんたつまきが発生し、プログラムも中断され、とんだハプニングとなった。しかし、たつまきも老人たちの躍動を賛美するかのごとく、力強く回転し、スポーツ大会の一コマに花をそえた。

九月二十日、町恒例の敬老会が町公民館で行われた。当日は、各地域の老人の方々を福祉バスなどで送迎し、約四百五十名の出席を得て盛大に催された。式典は、午前十一時から行われたが、老人の方々の中にはこの日を待ちかねて朝早くからみえていた方もおり、お弁当持参でソワソワしていました。

今年の最年長者は、天王の越後カネさん、鎌田和助さん、二田新町の伊藤ナカさんの三名で満九十一歳を迎え、本町の長寿の横綱となりました。

八十八歳の米寿を迎えたのは、二田の福田富治さん、武田キサさんの二名で、お祝いの記念品を手にニコニコ。

満八十歳でハトブえをいただいた方々は十八名で、町長から一人一人に手渡され、丁寧なお礼をのべていました。

また、日本羊綿株式会社(社長 昌一)より、七十七歳から八十歳の老人の方々に座ぶとん二百二十枚が贈られ、天王高等専修学校(校長 藤春治)からは八十二歳から八十四歳の老人の方々に手づくりのサイフ、五十五ヶが贈られた。

日本羊綿、天王高等専修学校からは、毎年心のこもった贈りものをいただき、おじいさん、おばあさんも感謝の意を表していました。

午後からは、民謡同好会、民踊同好会の方々によるアトラクションがあり、手拍子をとって笑い、かけ声をかけて楽しい一日を過ごしました。

# 九月定例町議会

## 湖岸野球場に 観覧席を設置

— 工費に三千万円 —

九月十二日、定例町議会が開かれた。

当日、会期を十三日までの二日間と決め、町長の一般報告、ついで各常任委員会の報告、秋田湾地区開発特別委員会の報告がなされた。

続いて一般質問の後、議案審議に入った。

今回提出された議案は、天王町立児童館設置条例の一部を改正する条例について、などの六案件で、原案どおり可決された。

### 九十万円を専決処分

昭和五十三年度天王町一般会計補正予算に九十万四千円が増額、専決処分したことについて承認を求め、可決された。

これは、追分小学校の郡、県野球大会の児童派遣費、天王中学校のバドミントン全国大会の派遣費などが主なものである。

### 児童館設置条例の一部が改正

天王町立児童館設置条例の一部を改正する条例について審議され、可決された。

これは鶴沼台に新たな児童館を設置すべく条例の関係部分を改正するものである。

### 児童館建設資金が寄付

鶴沼台児童館建設資金として九十万円が寄付され、寄付採納願について審議、可決された。

これは、鶴沼台分館長、加賀谷正太郎氏より、児童館建設資金として寄付の申し出があったもので、これを採納し、建設資金に充当するものです。

▲ 最初の下水道工事が着工される県道出戸小学校前



### 下水道整備工事費に 一千二百万円

昭和五十三年度天王町一般会計補正予算に、一億一千六百七十八万八千円が増額され、歳入歳出予算の総額が、二十四億六千九百九十七万円となった。

館建設工事費として六百万円、今年度より着手した公共下水道整備工事費として、一千九百九十九万三千円、天王漁港（江川）船揚場船溜り工事、同擁壁工事費としての一千九百九十六万円、上江川踏切町公民館線改良舗装工事費の一千六百二十二万円、公民館第二駐車場整備工事費七百八十九万円、湖岸野球場整備工事費（観覧席設置工事、電気工事一式を含む）としての三千五百五十万円である。



▲ 鶴沼台児童館建設予定地

### 郷土史コーナー 【72】

#### 稲刈り鎌

朝晩めっきり涼しくなると、たわわに実った稲穂がおじぎをし、いよいよ稲刈りのシーズン（二手打ち（一把二にぎり）ごとに鎌の音がサクサク、……と響く。

稲刈り鎌には、草刈り鎌の小型のものと、鋸（のこぎり）刃のものがあ

る。前者は地域によって大きさが違い、県北では大型で、南秋から県南にかけては小型のものが使用されていた。

後者の歴史は比較的新しく、一般的に使用されはじめたのは大正未から、昭和に入ってからだとされている。鋸鎌が県内で最初に普及したのは由利地方といわれ、しだいに各地に広がったものとみられている。



南秋では五城目のものがあるのだが、大量生産による安い県外産も入ってきた。しかしやや価格が高いものの、鍛冶屋の手づくりの鎌のほうが切れ味がすぐれていた。その後、改良が加えられ、使いやすく、切れの良いものができ、稲刈りの能率もあがった。（菊地 記）

### 教育委員に安田末蔵氏



安田末蔵氏

天王町教育委員会委員の佐々木良衛氏の任期満了にともない新たに安田末蔵氏（56）―追分―が任命され、原案どおり可決された。

安田氏は、町公民館の社会教育委員会の委員をつとめ、また議長として社会教育に貢献、活躍していた。

### 固定資産評価審査委員 員に三浦・菊地氏留任

天王町固定資産評価審査委員会委員の選任について審議され原案どおり可決された。

本町固定資産評価審査委員会委員の三浦兼氏（大崎）と、菊地石太郎氏（上出戸）の両氏の任期満了にともなって、新たに議会の同意を得たもので、三浦菊地の両氏が留任した。

# 公共下水道事業スタート

## 快適な生活環境で 住みよい町づくりを

県では「秋田湾、雄物川流域下水道事業」がスタートし、秋田市向浜に終末処理場を造成、昭和65年度の完成を目ざして事業が進められています。

本町でも、今年度から流域下水道の進展に対応して、豊かな自然と調和した、清潔でより文化的な町づくりを目ざして公共下水道事業を実施いたします。

### 私たちの生活と下水道

空から雨や雪として降ってきた水は、集って川になり、流れて海に入ります。そしてまた蒸発して空にもどって行きま

- ① 雨水や汚水を流すための下水道管
- ② 流れてきた雨水や汚れをくみあげるポンプ場
- ③ 集ってきた下水を衛生的に処理する終末処理場

このように水は、自然に大きな循環をくり返しています。そのうえにやさしさを与え、気候をやわらかにし、魚つりや、ボート遊びなどの場を提供します。

こうしたかけがえない水がよごれてしまったら大変です。私たちが家でなく使った汚れた水はどこに流れていくのでしょうか。

下水道のない町では、汚れた水はみぞに入ったり、そのち川や池や湖に入ります。汚れた水がきれいな川や池や湖に流れ込めば、いったいどうなるでしょう。

魚も水草も住めなくなり、またそのよな水は下流のわたしが再び使うことはできません。また雨がふれば道路のよごれなどまざって、汚ない雨水となり、下水道がないと道にあふれたり、家の中に流れこみます。

### 下水道ができる

家庭や工場などから流れ出た汚水は、衛生的に処理されま

すから、ドブ川がなくなり、蚊やハエの発生がなくなりま

す。くみとり便所から解放されて清潔な水洗便所となります。

管により直接河川に雨水を排出するので浸水の不安がなくなります。

また、雨がふっても浸水を防ぎます。下水道は豊かな自然を守り、快適な環境をつくるのに欠くことのできない施設なのです。

### 汚水をきれいな水にして海へ

下水道は豊かな自然を守り、快適な環境をつくるのに欠くことのできない施設なのです。

### 下水道計画の概要

第一期工事は、昭和六十二年を目標にして計画しています。

計画区域は、追分地区の市街化区域百十ヘクタールを計画し、順次整備していきます。

計画人口は、およそ三千六百人です。

下水排水方式は、分立式と、合

式です。

下水道に入った汚水は、流域下水道を通じて終末処理場へと流れます。

快適な生活環境を守る下水道は、かんたんにはできません。長い期間と、巨額なお金を費します。

この下水道を完成するには、

流式があり、本町は、雨水と汚水とを分けて処理する分立式です。

下水道に入った汚水は、流域下水道を通じて終末処理場へと流れます。

地域住民のあたたい理解と、協力がなくては実現できません。

下水道の建設には多額の資金が必要で、

町では、その財源として、

① 国庫補助金、② 地方交付税、③ 起債(借金)などによって下水道の建設を進める予定です。

緑豊かな、誰でも住んでみたくするような町づくりをみんなが実現しましょう。

要する下水道

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★



▶ フランクフルト市庁舎前で

ぼくにとつて、ドイツでの一ヶ月間は、今、青春という一語につきるものでした。

ドイツは、みどりが多く水面に影を落とす古城と、広い自動車道路とが不思議に調和し、想像していたところよりはるかに美しく、すばらしい国でした。いちばん心に残ったこと、それは何といても外国人と接し多くの友人を得たことです。

ドイツ人は伝統を大切にす。反面、大変合理的な国民です。スポーツに対しては勝劣よりも身体をきたえ、楽しむという考えを持っています。それから同年代の友人たちの職業に対する考え方に感心しました。

### 日独スポーツ青少年交流に参加して

大久保 喜徳

た。また、ぼくたち東北グループは五年に一度開かれるドイツスポーツ祭にも参加しました。この時は、ドイツ以外のカナダ、アメリカなど各国からきた青少年と一緒に生活し、交流を持つことができた。

ドイツは、伝統を大切にす。反面、大変合理的な国民です。スポーツに対しては勝劣よりも身体をきたえ、楽しむという考えを持っています。それから同年代の友人たちの職業に対する考え方に感心しました。

ぼくたちは、とにかく勉強してよい学校に入り、そしてよい職業、つまり将来性のある仕事につきたいと考えています。ところがドイツの人々は子どもの時から将来どんな専門職につくか、そしていかにそれをそのオーソリティーになるかを目ざしているのです。こんな考え方や、もの見方がわかっただけでも有意義な研修旅行だったと思います。

この研修に際して学んだことを少しでもドイツ少年団、そしてこれからのぼくの人生に生かしていきたいと思っています。



### 天王町俳句大会



「秋風や…」なかなかいい句ができませんナ

九月十七日、町公民館で、第二回天王町俳句大会が行われた。出席者は、町俳句会のメンバーをはじめ、十五市町村の方々と、遠くは大阪から伊藤山路氏を含め、五十名を数えました。当日は、県下に名のどろく俳人三十五名の出席を得て、句会を盛りあげた。

成績は次のとおり

◆兼題

▽五選の部

◎三位 児玉伯秋  
近く水と歳月すでに秋燕

◎四位 鶴谷トシ  
娘の発つ日茄子紺の濡れており

▽特選の部  
(佐々木汀月選)  
湯浴みして時計の跡の白さかな  
戸田栄春  
(せきね一兵選)

## 俳句大会 盛會裡に終る



現在、天王町連合青年会は、五単位の青年会(会員七十五名)で構成されています。

一時期、連合青年会は衰退しその後二年間は連絡協議会が発足してかろうじて面目を保っていました。その間、地道に活動を続けてきた各単位青年会の盛りあがり、会員相互の熱意により今年五月に再結成しました。

## 責任のある仲間づくりを目ざして

天王町連合青年会 会長 藤原秀政

このように単位青年会の活動が活発化している折、連合青年会との事業の提携もむずかしく合致する事業のないよう、連青の事業も年三回としました。

事業も、連青から各単青におろすのではなく、連青の理事会で計画し、その案を各単青でよく練り、それをまた連青の理事会で話し合って実行するもので各単青の意見などを優先した事業となつていきます。

青年会活動は、一人一人が集って話し合い、行動し、その中に充実した心を見出して責任のある、豊かな仲間づくりを目ざしています。

行動は、楽しく集うレクリエーションや奉仕活動に、またデ

イスカッションは自己の幅広い知識を養います。

これこそ青年会の原点ではないでしょうか。

青年会は、ともに青春のエネルギーを燃やし、楽しく、そして何んでも話し合える仲間を求めています。

## 11月18~19日に町文化祭開催

……出品物を募集……

十一月十八、十九日の両日にわたって、第三回天王町文化祭が町公民館を会場に、行われます。

文化祭は、自主的な文化活動の促進と町民の慰安と親睦をはかるために実施するもので、多数の参加をお待ちしています。

なお、文化祭出品物を募集しております。

### 個人出品

絵画、書道、生花、写真、短歌、俳句、盆景、楽焼、工作  
発明……等

古里の味や西瓜の挙割り  
佐々木汀月  
席題「秋風」

### 特選

秋風や火傷の足を椅子に垂れ  
鈴木玉斗

### 佳作

秋風や岩の窪みの忘れ汐  
米谷冬華

### 残照や野に影馳ける秋の風

京谷蒼湖

### 入賞者は、町在住の方だけ掲載いたしました。

### 本年度建設中の町営住宅、塩となりその際補欠入居者も決定いたしました。

### 口北野団地の入居者を募集します。

### 募集する

のは、第二種・平屋建(三DK)十六戸で、十月二十一日(土)まで役場建設課にお申す。

### 町営住宅入居者募集

なお、申し込み用紙は役場建設課にあります。

### 昭和53年度 秋季予防接種日程表

区分	対象者	会場	実施月日	接種前後の注意すべき点		
ポリオ(生ワク)	○新規 S52.11.1生~S53.6.30生れの者	追分分館	10月3日	下痢している時は飲ませない、また飲ませたあと30分ぐらい飲食させないこと。		
		出戸地区コミュニティセンター	10月4日			
	○第2期 S52.7.1生~S52.10.31生れの者	天王本郷分館	10月5日			
		天王町公民館	10月6日			
三種混合	○第1期 生後24ヶ月から48ヶ月までの間に3回接種を受けること。	追分分館	10月24日	11月14日	12月12日	接種前後の注意すべき点 接種日は安静にして入浴させないこと。 接種後、発熱して、それが2日以上つづくようなときは、医師の診察を受けて下さい。
		出戸地区コミュニティセンター	10月25日	11月15日	12月13日	
		天王本郷分館	10月26日	11月16日	12月14日	
	○第2期 第1期接種済者で接種後12ヶ月から18ヶ月に至る者が1回接種を受けること。	天王町公民館	10月27日	11月17日	12月15日	

○受付時間は各予防接種とも午後1時から2時までですので、近くの会場で行って下さい。

○母子手帳は必ず接種会場にご持参下さい。

○予防接種の事故防止のため、問診には正確にお答えできる人を付き添わせて下さい。

○予防接種によると思われる高熱が続いたり、ひきつけをおこした場合は至急医師の診断を受けて、役場衛生係に連絡して下さい。

### 循環器検診の日程のお知らせ

実施月日	実施場所	受付時間
10月23日(月)	追分分館	9:00~11:00
	北野児童館	13:00~14:00
10月24日(火)	出戸地区コミュニティセンター	9:00~11:00
	下出戸分館	13:00~14:00
10月25日(水)	天王町公民館	9:00~11:00 13:00~14:00
10月26日(木)	天王本郷分館	9:00~11:00
	江川児童館	13:00~14:00
10月27日(金)	羽立分館	9:00~11:00
	塩口分館	13:00~14:00
10月28日(土)	大崎分館	9:00~11:00

検診料 300円(2,100円のところ町補助1,800円)

申込先 役場保健衛生係か地区保健会  
申込切 10月14日(厳守)

# 保健婦だより

## 無理な仕事から腰を守りましょう

農繁期を終えると腰が痛いという方のために、腰痛についてお話ししましょう。

まず、原因となる農作業は、中腰やうずくまる姿勢が多いため、腰の筋肉が疲れ、体の筋力のバランスをくずします。そして腰を冷やすと筋肉が寒さで縮んでしまい、神経を圧迫して腰痛を起すのです。



また、40~50代以降になると骨の老化も加わり、激しい労働をしたり、急に重いものを持ち上げ、腰をひねった時、腰に負担がかかり腰痛を起しやすくなります。特に太りすぎの方は注意しましょう。

予防のためには、単調になりがちな生活に変化をつけ、楽しく仕事をする工夫をしましょう。

- それには、
- 1. 今日はこちらまでという、無理のない計画をたてましょう。
- 2. 仕事に工夫をこらし、考えながらやりましょう。
- 3. 1時間、仕事をしたら10分は休み、昼休みも1時間はとりましょう。
- 4. 睡眠時間は、7時間はとるようにし、午後10時前には休みましょう。
- 5. 普段から正しい姿勢を保つように心がけ、腰を冷さないようにし、ふとんは硬目のものがよいでしょう。
- ・仕事のあいまには、次の体操をおすすめします。

### 腰のばしと腰たたき



### 体のねじりと回し



## 行政相談所開設のお知らせ

10月15日から21日まで

土地や建物の問題、家庭のもめごとなどでお悩みの方は気軽にご相談ください。

相談された事柄については、固く秘密が守られます。申し出は、口頭や電話、手紙などでも結構です。

- △とき
  - ・10月16日(月)町役場
  - ・" 18日(水)追分分館
  - ・" 20日(金)出戸地区コミュニティセンター
- (各会場とも、午前10時から、午後3時まで)
- △相談員の住所、氏名は次のとおりです。また週間中は、自宅でも相談を行っております。
- ・天王町天王字羽立 安田慶太郎 (☎2733)

- 天王町俳句会 (九月分)
- 米飯で食事療法出穂揃う
- 塩口 桜庭与三郎
- 水めしに梅干おとしひとりかな
- 追分西 越前屋英三
- 閑古鳥沼のさざなみゆれしませ
- 大崎 菅原 由松
- 秋近し一生わびしき履歴書く
- 天王 京谷 郷愁
- 潮騒えの日毎高まり土用波
- 追分 安田 鹿山
- わらべらに草笛ありて桑は朱に
- 牛坂 鈴木 玉斗
- 走る子へ斜光が射貫く街西日
- 天王 米谷 冬華

たのしいお昼／ぎょうぎよく食べましょう。(天王小にて)



天王中学校では、五十一年からすでに実施されており、米飯給食は生徒や児童の評判もよく週二回(天王中は三回)の米飯給食を楽しみにしています。天王中は自校炊飯で各小学校は委託炊飯を行っています。ここ天王小学校では高学年を対象に米飯給食のアンケートをとったところ、ご飯がおいしいと答えた児童が百パーセント、量について

# 米飯給食一斉にスタート やっぱりごはんが一番

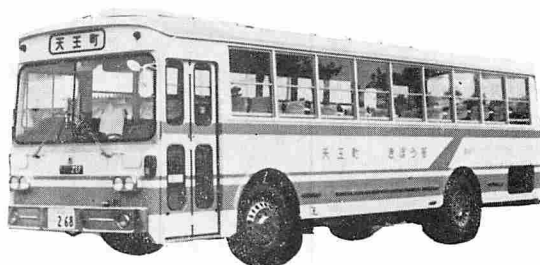
「うめえ、パンもいいもままはやっぱりいいナー」各小学校では、二期に入り一斉に米飯給食が行われた。

では、男子は少ない、女子はちょっと多いという答えであった。おかずは一致しておいしいと答え、量は少ないと答えた児童が大半を占めていた。しかし、低学年の児童は、ご飯、おかずともにおいしく量もちょうどで、笑いながら楽しく食事をしていった。小学一年生は、顔にご飯つぶをつけて、立ってあるいたり、となりの友だちとぶざけたりして先生をこまらすなど、あわただしいお昼のひとときを過ごしていた。

## きぼう号Ⅱ世をよろしく

### 大型化して新登場

本町の社会福祉のため、ふるに活用された福祉バス、きぼう号がさらに大型化してお目見えしました。従来のきぼう号は定員四十五名でしたが、きぼう号Ⅱ世は定員五十六名と大きく、椅子もリクライニングでゆったりすわれます。また、車内には扇風機、カラーテレビが備えつけられ、遠



距離の際は楽しく、さながら動く距離と形容しても大げさではありません。きぼう号乗車の際、飲酒は禁止されており、ゴミやアカンは各自でまとめて持ち帰り、車内を汚さないようにしましょう。みんなの福祉バスとして、大事に、また規律を守り、楽しくドライブをしたいものです。

## サッカー 雨の中で熱戦

### 江川チームが優勝

第四回全町サッカー大会が湖岸地区総合運動場を会場に行われた。当日は、時折強い雨が降るなど必ずしもコンディションに恵まれた状態ではありませんでした。参加チームは八チームを数え、熱戦がくりひろげられた。試合は江川チームが圧倒的な強さを示して決勝に進出。

- 若さをほこる天王中イレブンの対戦となった。しかし、パワーとかけひきのうまさで江川チームが着実に得点をかせぎ、三対〇のスコアで勝利をおさめ、優勝杯を手にした。
- 成績は次のとおり
- ▽優勝 江川チーム
- ▽準優勝 天王中チーム
- ▽第三位 羽立チーム
- 北光電子チーム
- 真夏日の暮るるに早き水の面に母のみ霊の灯ろう流す
- 天王 児玉 三朗
- 武家屋敷大樹にかこまれ庭広く緑に腰かけひぐらしの声を
- 追分 佐藤 正一
- 西瓜蒔き孫の便りに書きそえて暑中休暇の帰郷うながす
- 二田 渡部 ツナ
- 放課後に「レ・ミゼラブル」を読み給えし師の若き日のみ姿うかぶ
- 追分 吉田 四郎
- 命綱つけて登りぬ電工ら無線通話の声響かせて
- 追分 成田 和
- 庭かげに山百合咲けば香ぐわしきふるさとの野を遠く思ほゆ
- 追分 小林 ワカ
- 丹精をこめて作りし水稲を青刈りしゆく米あまる世は
- 二田 船木キヨノ

### 短歌

### 俳句

